

# 令和6年度福井県海岸漂着物等実態調査結果

## (1) 実施概要

①調査実施日 令和6年4月30日

②調査場所 水晶浜海水浴場（三方郡美浜町）

※年度ごとの実態を長期的に把握するため、毎年同時期に同一場所を実施

調査開始年度である令和2年度に、国の「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン」に基づき、各市町の意見を参考に、下記要件を満たした水晶浜海水浴場を対象として選定

〔要件〕

- ①漂着ごみが多い
- ②地域住民等による清掃活動が行われていない、または頻度が少ない
- ③回収したごみの組成調査・運搬等が行いやすい、駐車場等広いスペースのある海岸

## (2) 結果

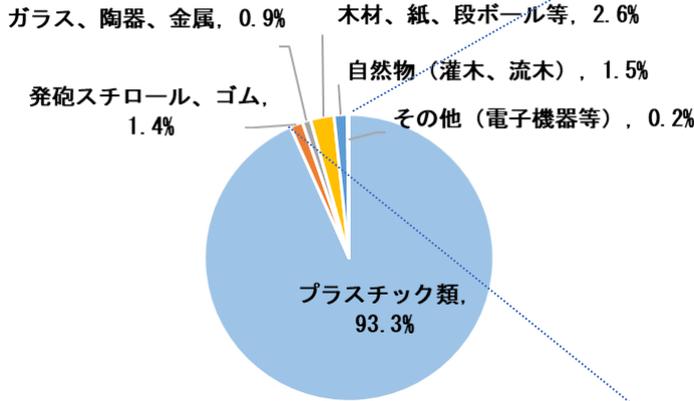
### ア) 海岸漂着物等の例

		
ロープ・ひも（漁具）	プラ_ボトルのキャップ	飲料用（ペットボトル）
		
アナゴ筒 （フタ、筒）（漁具）	灌木	浮子（ブイ）（漁具） （プラスチック・発泡スチロール）

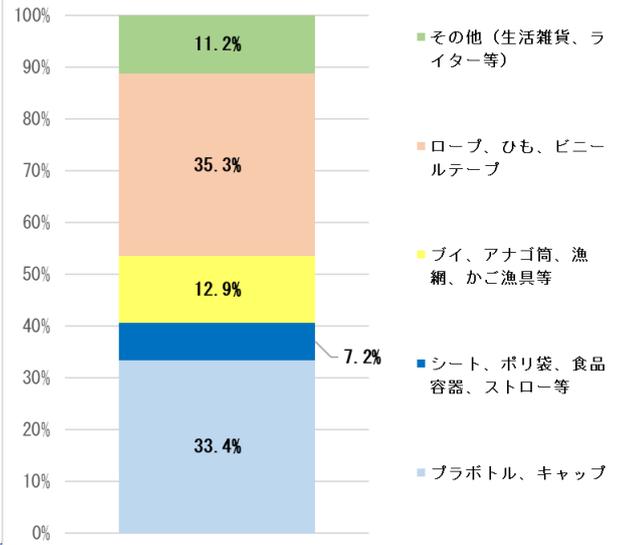
### イ) 組成比（個数、容積、重量）

- ・個数：計 2,887 個、容積：計 4.76 m<sup>3</sup>、重量：計 611.50 kg
- ・概ね令和5年度調査結果と同じくプラスチック類が多い。

分類別組成比（個数）



プラスチック類の内訳（個数）



【参考】令和5年度組成比（個数） 計 3,609 個

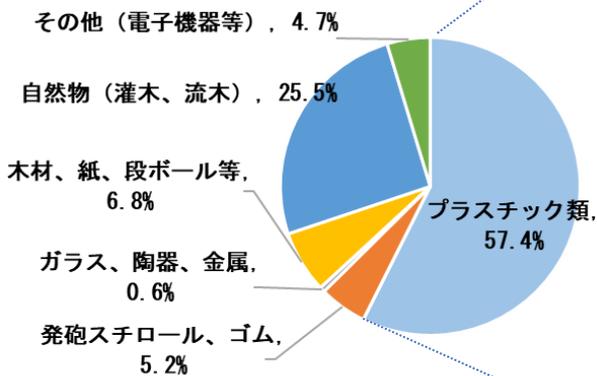
プラスチック類	発砲スチロール、ゴム	ガラス、陶器、金属	木材、紙、段ボール等	自然物（灌木、流木）
95.8%	2.4%	0.6%	0.9%	0.3%

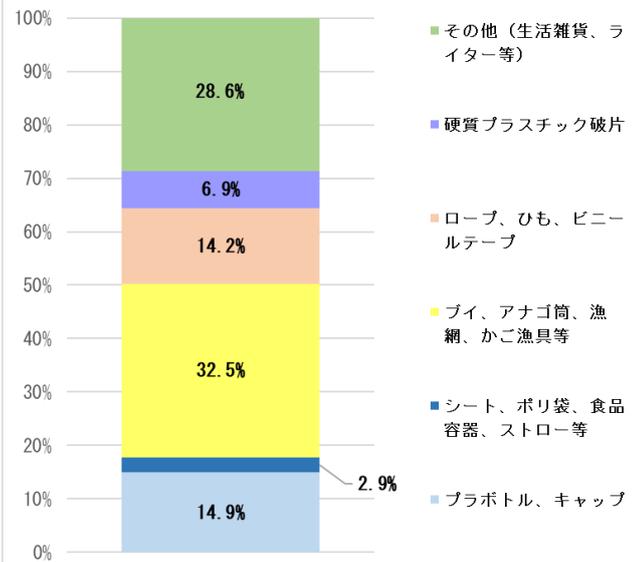
プラボトル、キャップ	シート、ポリ袋、食品容器、ストロー等	パイ、アナゴ筒、漁網、かご漁具等	ロープ、ひも、ビニールテープ	その他（生活雑貨、ライター等）
34.7%	8.6%	16.7%	32.0%	8.0%

※ガイドラインに基づき、硬質プラスチック破片の個数調査はしていない。

分類別組成比（容積）



プラスチック類の内訳（容積）

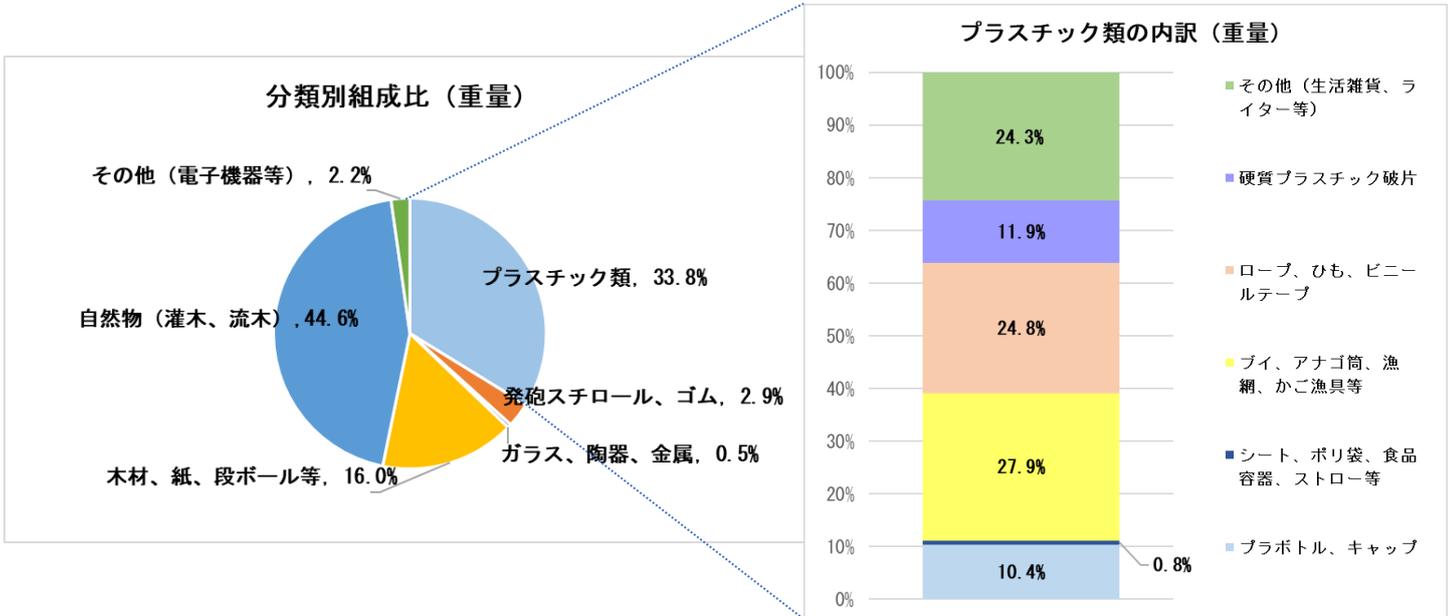


【参考】令和5年度組成比（容積） 計 3.3 m<sup>3</sup>

プラスチック類	発砲スチロール、ゴム	ガラス、陶器、金属	木材、紙、段ボール等	自然物（灌木、流木）
71.6%	3.9%	0.3%	4.9%	19.3%

プラボトル、キャップ	シート、ポリ袋、食品容器、ストロー等	パイ、アナゴ筒、漁網、かご漁具等	ロープ、ひも、ビニールテープ	硬質プラ	その他（生活雑貨、ライター等）
12.2%	2.1%	9.7%	17.4%	57.3%	1.3%



【参考】令和5年度組成比 (重量) 計 529.06 kg

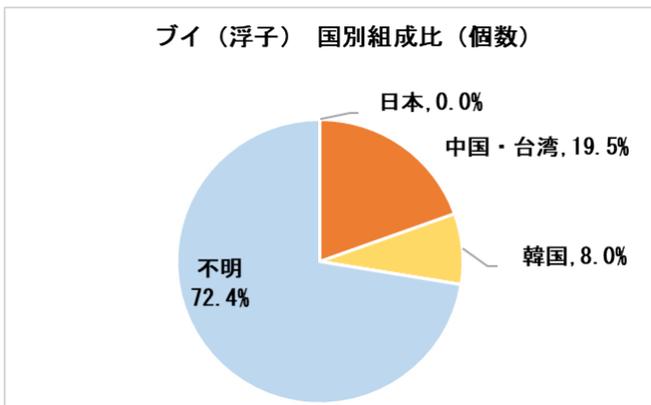
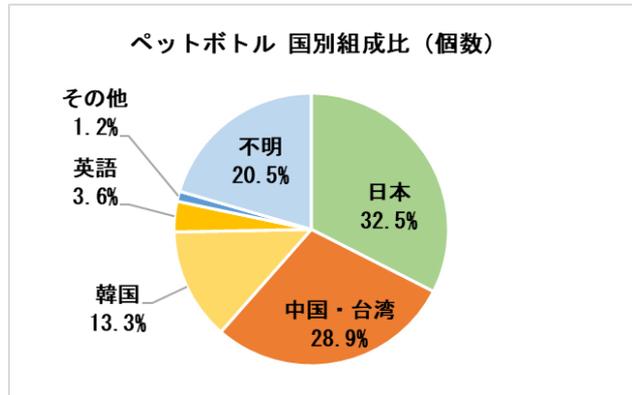
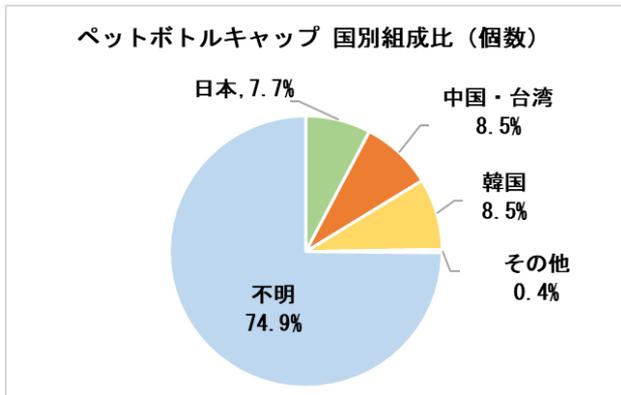
プラスチック類	発砲スチロール、ゴム	ガラス、陶器、金属	木材、紙、段ボール等	自然物 (灌木、流木)
56.4%	1.6%	0.8%	6.1%	35.2%

プラボトル、キャップ	シート、ポリ袋、食品容器、ストロー等	ブイ、アナゴ筒、漁網、かご漁具等	ロープ、ひも、ビニールテープ	硬質プラ	その他 (生活雑貨、ライター等)
6.4%	1.1%	11.0%	30.4%	50.0%	1.0%

ウ) 国別組成比

・国のガイドラインに従い、ペットボトルキャップ、ペットボトル、ブイ (浮子) の個数による国別組成を調査



【参考】令和5年度組成比 (個数)

○ペットボトルキャップ

日本	中国・台湾	韓国	その他	不明
8.8%	9.5%	10.5%	8.0%	63.1%

○ペットボトル

日本	中国・台湾	韓国	その他	不明
29.3%	28.0%	18.3%	3.7%	20.7%

○ブイ (浮子)

日本	中国・台湾	韓国	不明
0.0%	19.0%	3.7%	77.3%